



## I -05 商品分類マスター



ブランドマスターと商品分類マスターは親子関係となり、密接なつながりがあるため、このマニュアルを熟読の上、登録をお願いします。

=解説=

### ブランド A

パンツ

ジャケット

ワンピース

### ブランド B

パンツ

ジャケット

スーツ

### 商品分類マスターの役割

画面は売上予算・実績画面と仕入予算・実績画面で構成されており、予算を管理しない場合はコードと分類名のみを登録します。商品分類マスターは商品に分類属性を与え仕分する役割があります。

一般的には全商品群を約10分類程度に分けて、各集計表で利用します。商品の括りは[ブランド]ー商品分類ー季節コード順ですが、ブランドマスターが運用されていない場合、画面には[ブランド]が表示されず、商品の括りは”商品分類”ー季節コードとなります。

本書では、ブランドマスター運用 有の場合を想定しています。

登録手順1: No Brand コードで全商品分類を登録します。

登録手順2: ブランド毎に登録手順1でした商品分類マスターを登録します。

商品分類マスターメンテナンス (Win32 NT) 株式会社 MICADELIC70

処理 (F) 画面印刷 (H)

登録 商品分類マスターメンテナンス 20年10月度

ブランド No Brand 商品分類 555 toko

一般物品 商品大分類 000 ニット

ブランド選択

	売上予算	仕入予算
1月	0	0
2月	0	0
3月	0	0
4月	0	0
5月	0	0
6月	0	0
7月	0	0
8月	0	0
9月	0	0
10月	0	0
11月	0	0
12月	0	0
合計	0	0

売上予算入力項目

仕入予算入力項目

更新 (U) テキスト (R) 中止 (S) 終了 (X)



## I -05-1 商品分類マスター [登録]処理

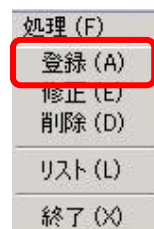
### [登録]処理説明

ここでは商品分類の登録方法を説明します。

### 操作説明（商品分類の新規登録）

#### 1. 処理区分の選択

初期値は登録モードとなります。左上の[処理(F)]から[登録(A)]をマウスでクリック、またはアクセスキーを押します。



#### 2. ブランドコードの選択（※ブランド管理が導入されていない場合は[ブランド]は表示されません）

「No Brand」を選択します。

#### 3. 商品分類コード・商品分類名の入力

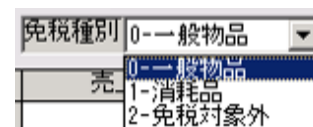
商品分類コードは英数字を左より3桁以内で入力します。

商品分類名は全角10桁以内で入力します。入力後、更新ボタンを押して登録することも可能です。

商品分類	
------	--

#### 4. 免税種別の選択

免税の種別を「0-一般物品」「1-消耗品」「2-免税対象外」から選択します。



#### 5. 商品大分類の指定

登録済みの商品大分類マスターの一覧から、割り当てたい大分類を選択します。

※商品大分類マスターの割り当て時は、ブランドを指定すると設定できません。

#### 6. 売上情報を入力

期首～期末まで数値10桁以内で入力します。

（登録しなくても運用は可能です）

売上予算・値引・返品・粗利が入力できます。

（売上データは反映されません）

合計・純売上は自動で集計されます。

	売上予算	仕入予算
1月	0	0
2月	0	0
3月	0	0
4月	0	0
5月	0	0
6月	0	0
7月	0	0
8月	0	0
9月	0	0
10月	0	0
11月	0	0
12月	0	0
合計	0	0

#### 7. 仕入情報の入力

期首～期末まで数値10桁以内で入力します。

（登録しなくても運用は可能です）

仕入予算・仕入・値引・返品が入力できます。

（仕入データは反映されません）

合計・純仕入は自動で集計されます。



8. **更新**ボタン  
入力したデータを登録します。
9. **デフォルト**ボタン  
入力した分類名以降のデータを初期の状態に戻します。
10. **中止**ボタン  
入力しているデータを破棄し、未入力の状態に戻します。
11. **終了**ボタン  
ブランドマスターを終了します。

以上で一つの商品分類の登録は終了です。継続して追加登録する場合は、終了ボタンを押さずに、「3. 商品分類コード・商品分類名の入力」より以降を繰り返し作業します。



## 操作説明（商品分類のブランドへの割り当て）

12. ブランドの選択（※ブランド管理が導入されていない場合は[ブランド]は表示されません）  
ブランドマスターで登録したブランドを選択します。

13. 商品分類の選択

登録済の英数字を左より3桁以内で入力するか、参照ボタンを押して表示されるリストから選択します。



14. 売上情報を入力

期首～期末まで数値10桁以内で入力します。（登録しなくても運用は可能です）  
売上予算・値引・返品・粗利が入力できます。（売上データは反映されません）  
合計・純売上は自動で集計されます。

15. 仕入情報の入力

期首～期末まで数値10桁以内で入力します。（登録しなくても運用は可能です）  
仕入予算・仕入・値引・返品が入力できます。（仕入データは反映されません）  
合計・純仕入は自動で集計されます。

16. **更新**ボタン

入力したデータを登録します。

17. **デフォルト**ボタン

入力した分類名以降のデータを初期の状態に戻します。

18. **中止**ボタン

入力しているデータを破棄し、未入力の状態に戻します。

19. **終了**ボタン

ブランドマスターを終了します。

以上で一つの商品分類のブランドへの割り当ては終了です。継続して割り当てする場合は、終了ボタンを押さずに、「14. ブランドの選択」より以降を繰り返し作業します。



## I-05-2 商品分類マスター [修正]処理

### [修正]処理説明

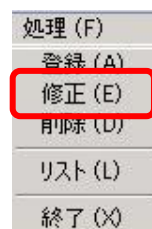
ここでは商品分類の修正方法を説明します。

## ★ 商品分類コードは変更不可能です！！

### 操作説明

#### 1. 処理区分の選択

初期値は登録モードとなります。左上の[処理(F)]から[修正(E)]をマウスでクリック、またはアクセスキーを押します。



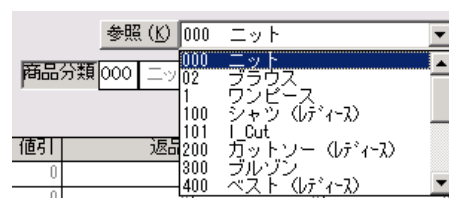
#### 2. ブランドコードの選択 (※ブランド管理が導入されていない場合は[ブランド]は表示されません)

修正したい商品分類が属しているブランドを選択します。

「No Brand」を選択した場合のみ、「免税種別」と「商品大分類」の修正が可能となります。

#### 3. 商品分類の選択

登録済の英数字を左より3桁以内で入力するか、参照ボタンを押して表示されるリストから選択します。



その後、商品分類マスターの情報が表示されます。

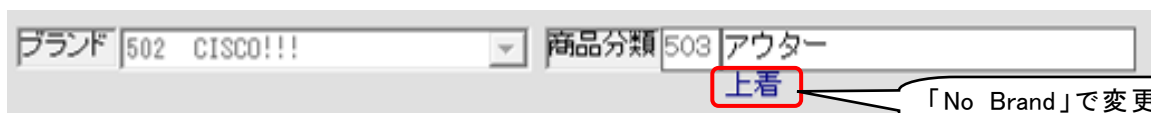
#### 4. 修正可能項目

商品分類マスターの情報表示後、「商品分類名」「売上情報」「仕入情報」の内容が変更できます。

(ブランドで「No Brand」を選択した場合、「免税種別」と「商品大分類」の修正も可能となります)

修正する項目をマウスでクリックし入力、修正終了後に「更新」ボタンを押すことで修正が確定します。

※「No Brand」の「商品分類名」を変更しても、他のブランドに割り当てられているその商品分類名は自動では変更されません。割り当てたブランドごとに変更する必要があります。その時、変更した商品分類名が欄外に表示されます。



#### 5. 更新ボタン

入力したデータを登録します。

#### 6. 呼出時ボタン

修正したデータを削除し、修正前に戻します。

#### 7. 中止ボタン

入力しているデータを破棄し、未入力の状態に戻します。

#### 8. 終了ボタン

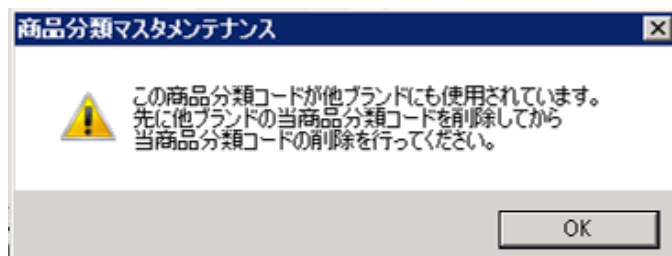
ブランドマスターを終了します。



## I-05-3 商品分類マスター [削除]処理

### [削除]処理説明

ここでは商品分類の修正方法を説明します。手順として、先にブランドに割り当てたすべての商品分類を削除し、その後に「No Brand」の商品分類を削除します。ブランドに割り当てた商品分類が残っている場合、以下のメッセージが表示され、削除できません。



## 一度削除したマスターを元に戻すことは不可能です

### 操作説明 (ブランドに割り当てられた商品分類を削除する場合)

#### 1. 処理区分の選択

初期値は登録モードとなります。左上の[処理(F)]から[削除(D)]をマウスでクリック、またはアクセスキーを押します。



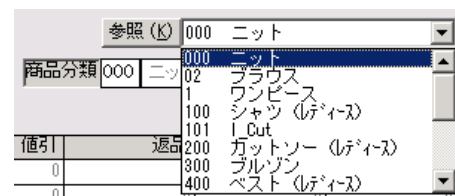
#### 2. ブランドコードの選択 (※ブランド管理が導入されていない場合は[ブランド]は表示されません)

削除したい商品分類が属しているブランドを選択します。

#### 3. 商品分類の選択

登録済の英数字を左より3桁以内で入力するか、参照ボタンを押して表示されるリストから選択します。

その後、商品分類マスターの情報が表示されます。



#### 4. 更新ボタン

表示された商品分類の削除を実行します。

#### 5. 中止ボタン

入力しているデータを破棄し、未入力の状態に戻します。

#### 6. 終了ボタン

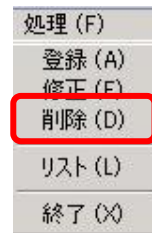
ブランドマスターを終了します。



## 操作説明（ブランドに割り当てられていない商品分類を削除する場合）

### 1. 処理区分の選択

初期値は登録モードとなります。左上の[処理(F)]から[削除(D)]をマウスでクリック、またはアクセスキーを押します。



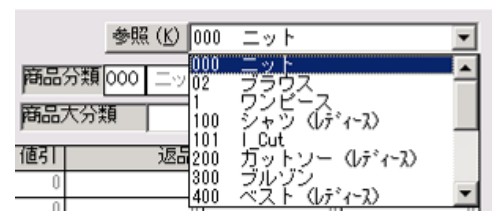
### 2. ブランドコードの選択（※ブランド管理が導入されていない場合は[ブランド]は表示されません）

「No Brand」を選択します。

### 3. 商品分類の選択

登録済の英数字を左より3桁以内で入力するか、参照ボタンを押して表示されるリストから選択します。

その後、商品分類マスターの情報が表示されます。



### 4. 更新ボタン

表示された商品分類の削除を実行します。

### 5. 中止ボタン

入力しているデータを破棄し、未入力の状態に戻します。

### 6. 終了ボタン

ブランドマスターを終了します。



## I -05-4 商品分類マスター [リスト]処理

### [リスト]処理説明

登録されている商品分類を一覧で表示します。割り当てられた商品分類もブランドごとに表示されます。

### 操作説明

#### 1. 処理区分の選択

初期値は登録モードとなります。左上の[処理(F)]から[リスト(L)]をマウスでクリック、またはアクセスキーを押します。

処理 (F)
登録 (A)
修正 (E)
削除 (D)
<b>リスト (L)</b>
終了 (X)

#### 2. 出力先の選択

画面上に表示する「画面」と、紙で印刷する「プリンタ」が選択できます。PDF ファイルで保存したい場合は「画面」を選択します。

出力先:	画面
	画面 プリンタ

#### 3. 範囲の選択

抽出条件の開始と終了を範囲で指定します。

抽出条件として「ブランドコード」「大分類コード」「商品分類コード」が使用できます。

開始が空欄の場合、初めから。終了が空欄の場合、最後までが出力されます。

開始欄・終了欄ともに空欄の場合、全ての商品分類が出力されます。

範囲	ブランド	開始:		終了:	800
	Code:	No Brand		No Brand	
	大分類				
	Code:	未登録		未登録	
	商品分類				
	Code:	未登録		未登録	

#### 4. 出力 (P) ボタン








リストを出力します。

#### 5. 終了 (X) ボタン

ブランドマスターリストを終了し、ブランドマスター画面に戻ります。

### <画面出力>

画面上に出力した商品分類マスターリストの上段にある各種機能は以下のとおりです。

-  : 印刷ボタン。画面に表示されているリストを印刷します。
-  : レポートのエクスポート。リストを PDF や Excel ファイルとしてエクスポートします。
-  : ページの移動。最初や最後、前後や任意のページに移動できます。
-  : テキストの検索。リスト内の文字を検索します。
-  : 画面倍率の変更。▼から選択、または手入力で変更できます。
-  : 印刷設定。プリンタなどを設定します。
-  : リストを閉じます。商品分類マスターリスト画面に戻ります。